
領域名：成人保健看護

報告者：荻堂 亜梨沙

教育及び実践の課題

広域・基盤看護科目の一つとして、2年次の学生に対しヘルスアセスメントの講義・演習を行っている。ヘルスアセスメントの演習における課題として以下の2点がある。

1. 現在、ヘルスアセスメント授業の1週間前に事前学習課題の提出を学生に課している。しかし、学生の事前学習課題の取り組み状況によっては、演習を通しての技術習得やグループディスカッションの参加にばらつきがある。
2. 多領域の教員が関わる科目であり、指導者側の知識や技術、ファシリテーション能力に差があり、統一した指導をすることが難しい状況にある。

活用した論文の概要

Carol B(2015)は、看護学部生 80 名を対象に TBL を取り入れた反転授業を導入し、学生の理解度や反応を分析している。その結果、事前に講義中に必要とされる基礎的な看護知識を取り入れたビデオ教材を追加したことで事前学習が強化されたと報告している。また講義中は小グループを活用することにより活発な意見交換ができたとの反応から、学生からの評価が高く、TBL を通してチームワークや協働スキルの向上が見られたと報告している。TBL を活用した反転授業を実施するためには、クリティカル・シンキングを促す問題や教員の適切なフィードバックが出来るよう、指導者側の指導能力向上が必要である。

教育及び実践への活用

教育への活用として、ヘルスアセスメントの授業で反転授業を取り入れた。具体的には、学生はテキストや付属の DVD 視聴後に事前学習課題を行い、授業では知識や技術の定着を目指した授業を実施した。また、これまでの事前学習課題用紙に事前課題での“疑問点・各自で調べたこと”の欄を設けたことで、授業では、教授する内容に加え、学生個々の疑問に合わせた知識の提供および技術の確認を行うことができた。さらに、学生が実施する事前学習課題の取り組みに差がでないように、学生が実施した事前学習課題を担当教員へ提出するだけでなく、担当教員は、学生の事前課題学習内容を確認し、必要時には授業でフィードバックを行った。

ヘルスアセスメントは広域・基盤看護科目であり多領域の教員が関わるため、毎回の授業前に、授業内容や方法の共有を行い、各教員が共通した指導ができるような工夫を行った。

今後の課題として、事前学習課題で提示しているテキスト付属の DVD 視聴では、細かな技術確認が行えず、演習と連動していない箇所があり、演習内容に沿った教材作りが必要である。また演習は小グループでディスカッションをしながら取り組んでいるため、学生が事前学習やメンバーに対して責任をもって取り組めるよう TBL の原則である「メンバー同士の相互評価」を活用するなど工夫が必要である。

参考文献

Carol B, Della Ratta. (2015). Flipping the Classroom With Team-Based Learning in Undergraduate Nursing Education. Nurse Educator , 40(2), 71-74.
